MITSUBISHI

三菱電機クーリングユニット<天井置形>

取扱説明書

AFH-P05A
AFH-P05RA
AFL-P05RA
AFL-RP08A
AFL-RP1A
AFL-RP1.6A
AFL-RP2A
AFR-RP1A
AFR-RP1.6A
AFR-RP2A
AFR-RP3A

このたびは三菱電機クーリングユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 取扱説明書と保証書は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

もくじ

〈1〉安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

図記号	意味
⃠	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い、行ってください。
⏚	必ずアース工事を行ってください。
(電源プラグ)	電源は必ず切ってから行ってください。
(接触禁止)	触れたり､指や棒を入れないでください。

- お読みになった後は、据付説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

⃠ お客様自身で据付けはしない。

・据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付け工事をされ不備があると水漏れや感電・火災・ケガの原因となります。

⃠ 屋外や湿気の多い場所では使用しない。

・雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。
・湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据付けないでください。発火や感電の原因になります。

⃠ 製品を水洗いしない。

・クーリングユニットやリモコンに直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因となります。

⃠ 電源コードを傷つけたり･引っ張ったりしない。

・電源コードを傷つけたり、加工したり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⃠ 揮発性､引火性のあるものを冷蔵庫内に入れない。

・揮発性、引火性のあるものは庫内に入れないでください。爆発や火災の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れない。

・空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れないでください。内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になります。

⃠ お客さま自身で移設しない。

・移設は、販売店または、専門業者にご相談ください。据付け不備があると水漏れ、感電・火災等の原因になります。

⃠ お客さま自身で修理しない。

・販売店または専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。分解、修理、改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。

異常時は運転を停止して､直ちに電源を切る。

・異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。

⚠注意

濡れた手でスイッチを触れない。

・濡れた手でスイッチには、触れないでください。触れますと感電の原因になります。

ユニットの上に乗ったり、ものを載せない。

・落下、転倒によるケガの原因になります。
・機械部にものを乗せたり、手を入れたりしないでください。内部でファンが高速回転していますので発熱やケガの原因になります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない。

・可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。

長時間使用しない時は、電源を切る。

・長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源を切ってください。

掃除のときは、必ず運転を停止し、電源を切る。

・掃除をするときや、整備・点検のとき、必ず運転を停止させ、電源を切ってください。感電の原因になります。

フィンに手を触れない。

・掃除をする時には、フィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になります。

取扱者以外の人が操作しないように保護する。

・取扱者以外の人が触れないような表示をするか、触れるおそれのあるときは、保護柵などでユニットを囲ってください。誤使用が原因でケガをすることがあります。

配管や配線電気部品に触れない。

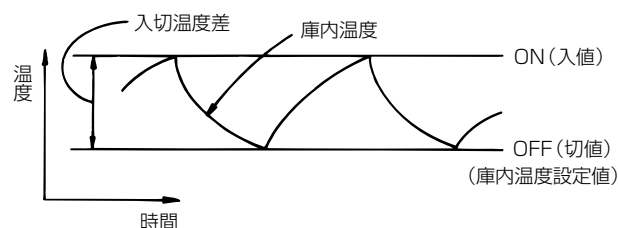
・露出している配管や配線に触れないでください。火傷や感電の原因になります。

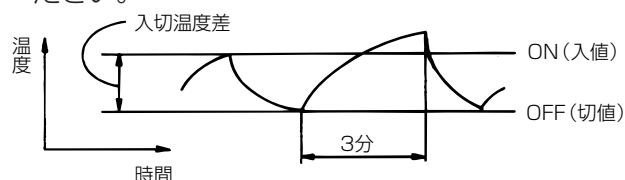
据付け台などが傷んだ状態で放置しない。

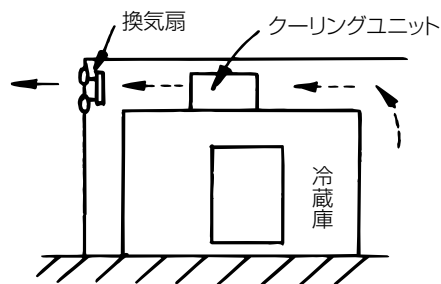
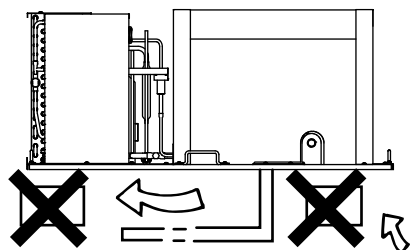
・長期使用で据付け台などが傷んでいないか定期的に点検してください。傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になります。

〈2〉使用上のお願い

（イ）庫内温度設定について

● 庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度（OFF:切値）を示します。ユニットが運転する温度（ON:入値）は入切温度差分だけ高くなりますので注意してください。

（ロ）入り切り温度差設定について（0.5～5K可変）

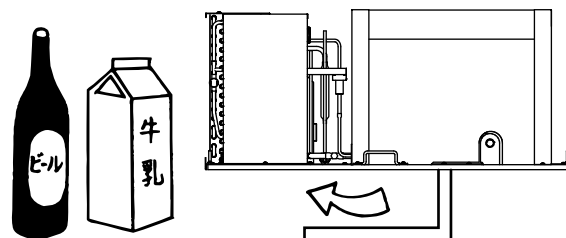
● 入切温度差は3Kが出荷時設定値です。
0.5Kまで設定できますが、圧縮機に損傷を与えないために、3分間のショートサイクル防止（始動遅延）機能がついています。したがって冷蔵庫の負荷の状態によっては、入切温度設定差が設定値より大きくなることがありますので注意してください。

（ハ）空気の循環をよくしてください。

- 暖房室や換気の悪い場所でお使いになりますと熱がこもるおそれがあります。通風については特に配慮してください。凝縮器吸込空気温度が35℃を超える場合は、換気扇を設け35℃以下となるようにしてください。

- 冷気吹出口や吸込口をふさがないでください。風の流れを妨げると冷凍効果が低下します。

- 冷気吹出口を商品などでふさがないでください。庫内温度の適正な検知ができません。

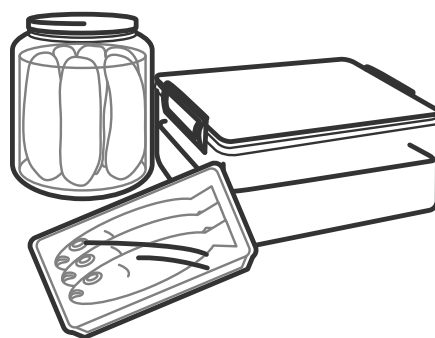
（ニ）電源スイッチおよび運転／停止ボタンを3分以内で繰り返し操作しないでください。

- 圧縮機に無理がかかり、故障の原因となりますので、絶対にやめてください。
- 電源スイッチおよび運転／停止ボタンを3分以内で操作した場合は圧縮機が運転しないようになっています。3分間経過するまでお待ちください。

（ホ）冷気の吹出口の近くに牛乳やビールを置かないでください。（冷蔵用AFL形,AFH形ユニットの場合）

- 冷えすぎて凍ることがあります。

- ユニットより吹出される空気温度は設定温度（吸込空気温度）より約5～10K程低いのが一般的です。花、野菜等の低温障害を起こしやすい品物や、凍結により障害を起こす品物の冷却については、吹出冷風の影響を受けないよう（直接冷風をあてない、包装またはカバーをする等）注意してください。

（ヘ）腐食性雰囲気では使用しないでください。

- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。密閉されていない場合、冷却器が腐食し故障の原因となります。また、腐敗物がありますと、アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので、腐食物を放置しないでください。

（ト）凍結の目的では使用しないでください。（冷凍用AFR形ユニットの場合）

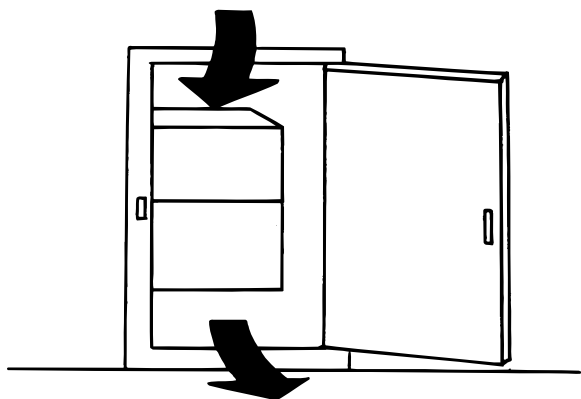
- 冷凍用は凍結された商品を保存する目的でご使用ください。（凍結の目的では使用しないでください。）

（チ）適正な庫内温度で使用してください。

- ユニットは使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

<使用庫内温度>冷蔵(高温)用AFH形の場合+3～+20℃
冷蔵(中温)用AFL形の場合−5～+15℃
冷凍用AFR形の場合−25～−5℃

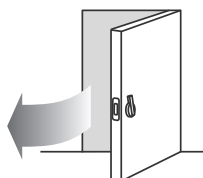
（リ）扉の開閉はできるだけ少なくしてください。

- 商品の出し入れは回数を少なく、短時間に行なってください。
扉を開けたままにしておくと、暖かい空気が庫内に入り冷えが悪くなります。

- 多量の商品の出し入れ時、長時間扉を開けたままにすると冷却器に霜が付きますので運転／停止ボタンを「停止」にしてください。

（ヌ）加湿器を冷気吸込口の近くに置かないでください。

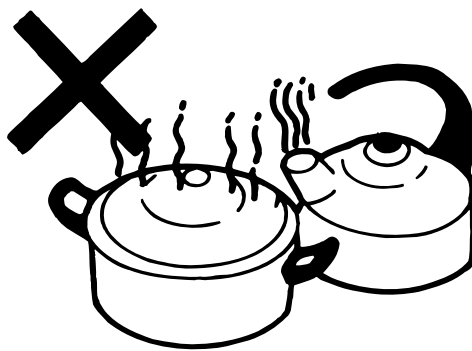
- 加湿器を設ける場合は、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸込まれないように設置してください。蒸気を直接吸込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。
なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取の間隔を見直してください。

（ル）冷蔵庫の扉を開けたままにしないでください。

- ユニットの着霜が多くなり、残霜・不冷となるおそれがあります。

（ヲ）高級商品の冷蔵用途などに使用する場合は、万一の場合を考え貯蔵品の損傷を未然に防止できるように必ず警報装置を設けてください。

（ワ）血液・ワクチン・医薬品などの厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合は、販売店にお問い合わせください。

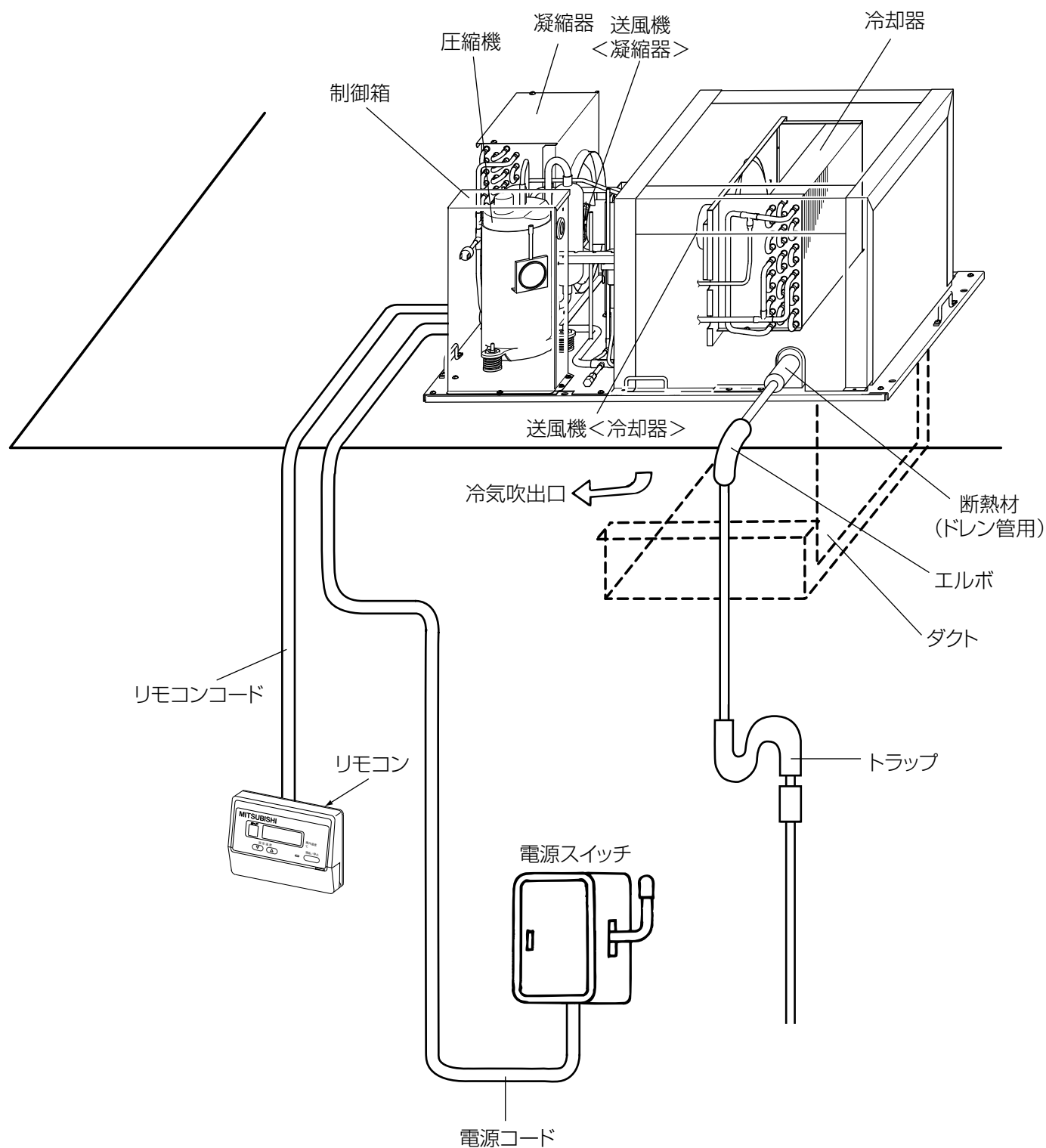
（カ）熱いものはさましてから入れてください。

- 熱いまま入れると庫内の温度が上がり、他の商品に悪い影響をあたえます。

（ヨ）危険物および化学薬品の貯蔵には使用しないでください。

- エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また、ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。

〈3〉各部のなまえ

（1）各部のなまえ

（a）本体部

（b）リモコン部

リモコン

設定温度ボタン
ボタンを押すことにより、設定温度の調整が可能です。リモコン操作ロックボタンによる操作ロック時、設定温度表示されません。(庫内温度が点滅します。)製品の基板によるリモコン操作ロック時は「---」の点滅表示になります。(注1)

運転／停止ランプ(LED赤色)
運転時『点灯』
異常時『点滅』

運転／停止ボタン
ボタンを押す度(2秒以上押し続ける)、運転 ↔ 停止が切替わります。異常時は一旦停止させることにより異常停止が解除されます。

表示部詳細下記

モード切替ボタン
ボタンを押すことにより設定する項目(モード)を、切替えることができます。

緊急停止ボタン
ボタンを押すことにより、ユニットを緊急停止させます。

操作ロックボタン
ボタンを押すことにより(2秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。
※『運転／停止』、『緊急停止』ボタンはロックしません。瞬停、停電復帰後は解除されます（注1）

履歴消去ボタン
ボタンを押すことにより、過去の異常履歴を消去します。

診断ボタン
ボタンを押すことにより、自己診断モードに入ります。5秒以上押し続けますと、リモコン診断モードに入ります。

MITSUBISHI
モード
庫内温度
℃
設定温度
運転/停止
操作ロック　モード切替　登録　時刻呼出　手動霜取　緊急停止
温度シフト　霜取リセット　履歴消去　診断

設定値変更ボタン
設定モード時、各種設定値を変更します。(▽ △)

手動霜取ボタン
ボタンを押すことにより、強制的に霜取を開始します。(運転ランプ点灯時のみ有効)

登録ボタン
設定値変更ボタンにて変更した値の登録をします。
5秒以上押し続けますと標準設定に戻ります。

時刻呼出ボタン
クーリングユニットでは使いません。

温度シフトボタン
ボタンを押すことにより、設定された温度シフト差分、庫内温度設定が下がります。(最初の1回のみ)

霜取リセットボタン
ボタンを押すことにより、霜取運転時に霜取を強制終了させます。
※霜取リセットボタンを押す時は、霜取が確実に終了していることを確認してください。
霜取運転終了後の水切り停止中はリセット解除できません。

注1）リモコンでおこなう操作ロックは簡易的な機能です。通常は、クーリングユニットの制御箱内の基板で操作禁止の設定をしてください。詳細は据付工事説明書を参照してください。

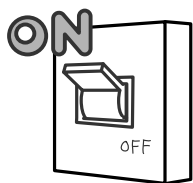
リモコン表示部説明

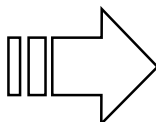
モード番号表示部
モード切替ボタンを押す度、モード番号表示が切替わります。

MITSUBISHI
モード
1. -5.0
庫内温度
℃
設定温度
運転/停止

操作ロック表示部
モード番号表示部の右下に「.」が表示されているときは、リモコンの操作ロックボタンによる操作ロックが有効となっています。操作ロックを解除したいときは、操作ロックボタンを2秒以上押し続け「.」表示が消えたことを確認してください。

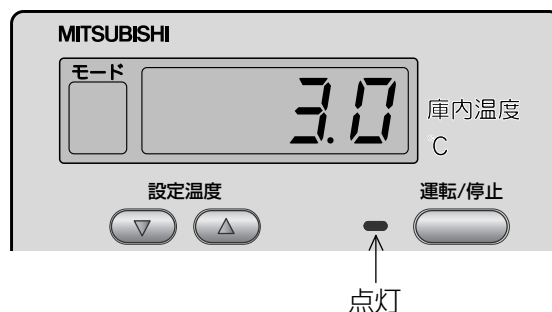
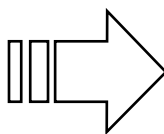
〈4〉 使いかた

（1） はじめに

①電源スイッチが、『切』である事を確認する。
②電源スイッチを入れる。

☆電源投入後約1分間リモコンが点滅表示します。

☆その後、現在の冷蔵庫内温度表示します。

（2）運転開始

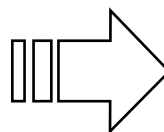
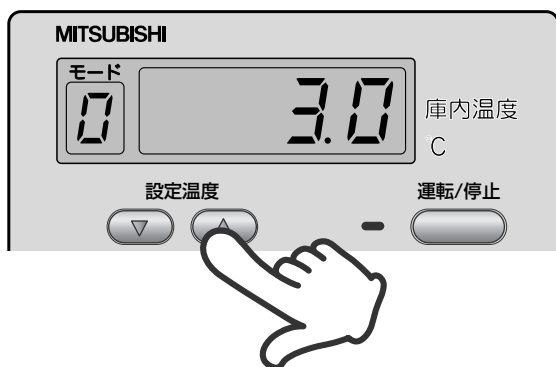
①運転／停止ボタンを押す。(運転／停止ボタンは誤操作防止のため2秒以上押し続けると動作します)

☆運転ランプが点灯します。

（3）庫内温度の設定

①運転ランプが点灯している状態で設定温度ボタンにて設定します。
●設定温度ボタンのどちらかを1回押すと、モード表示部に「0」を表示して現在の設定温度を表示します。
②続けて押して設定したい温度に数値を合わせると設定温度が変更されます。
●目標の庫内温度に設定しましたら、しばらく放置しますと庫内温度表示に戻ります。(設定完了)

標準設定値(工場出荷時)は下表のとおりです。

	設定値	設定範囲
AFH	10℃	+1～+25℃
AFL	0℃	−7～+20℃
AFR	-20℃	−27～−3℃

☆設定後しばらくして庫内温度表示に戻ります。

（4）手動霜取と霜取リセット

①霜取は自動的に行います。『冷却運転』途中で霜取をしたい場合は操作パネルを開け、以下の要領で手動霜取を行うことができます。

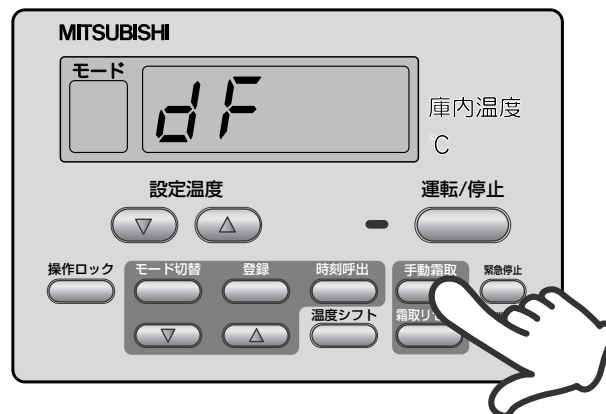
【手動霜取】

●運転ランプ点灯中に[手動霜取]ボタンを1回押しますと、強制的に霜取運転に入ります。

●表示部には、『dF』が表示されます。『dF』表示は霜取運転中および霜取運転終了後15分間表示します。

●霜取終了は、冷却器内霜取終了サーミスタ検出値もしくは霜取時間で設定した時間のどちらか早い方で終了します。

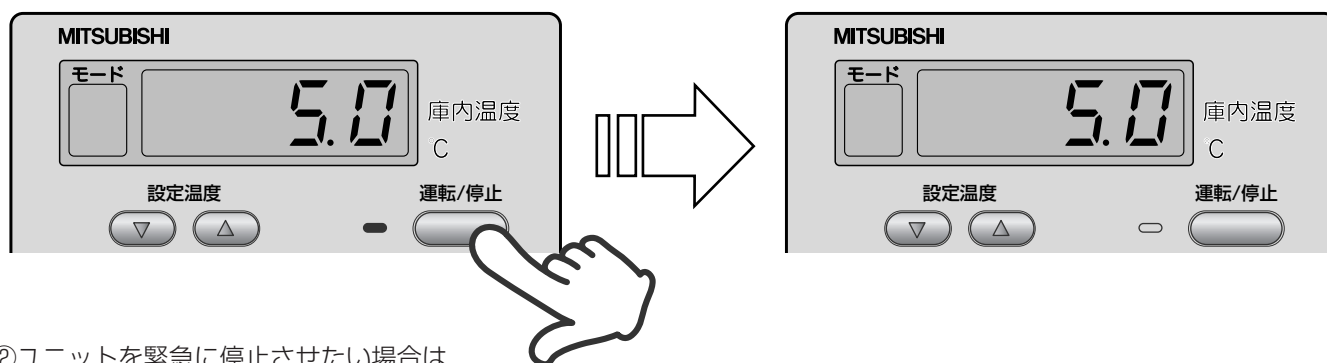
●AFL，AFRの場合、霜取終了後の「水切り時間」は3分間です。（3分間ユニットを停止します。）
（AFHはオフサイクルデフロストであるため水切り運転はありません。）

【霜取リセット】

●霜取運転中、[霜取リセット]ボタンを1回押しますと、強制的に霜取運転を終了させます。
(注)残霜がないことを十分に確認して操作してください。

●霜取運転終了後の水切り停止中は、リセット解除できません。

（5）運転停止

①[運転／停止]ボタンを押す。([運転／停止]ボタンは誤操作防止のため2秒以上押し続けると動作します)

☆運転ランプが消え、しばらくしてユニットは停止します。

②ユニットを緊急に停止させたい場合は[緊急停止]ボタンを押してください。ユニットはすぐに停止（直切り）します。

③長期間停止する場合は[運転／停止]ボタンでユニットを停止させた後、電源スイッチを切ってください。

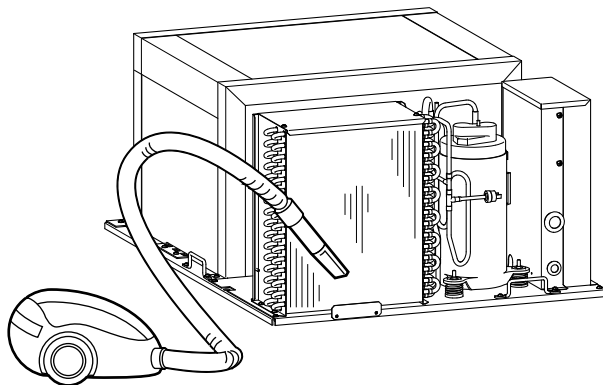
〈5〉お手入れ

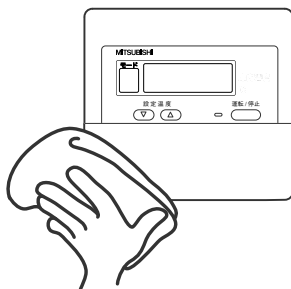
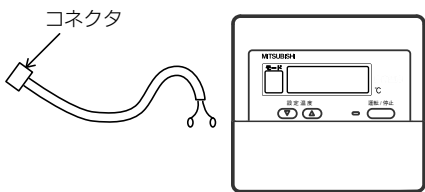
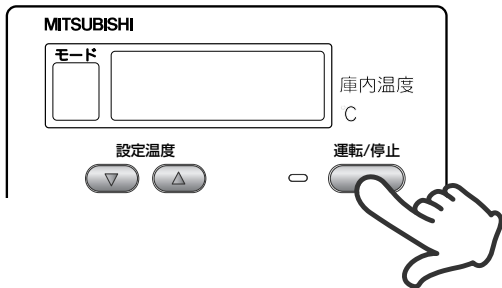
- 安全のため、お手入れの前に必ず電源を切ってください。
- リレーボックスやファンモーターには、絶対に水をかけないでください。故障(とくに漏電)の原因となります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

(1) 凝縮器

長時間 、ご使用になりますと凝縮器にゴミが付着して冷えが悪くなります。月に1回ぐらいブラシまたは電気掃除機などできれいに掃除してください。

掃除のときは､必ず運転を停止し､電源を切る。

・掃除をするときや、整備・点検のとき、必ず運転を停止させ、電源を切ってください。感電の原因になります。

(2) リモコン

乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

〈6〉故障かな？と思ったら

● サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。
それでも原因が分からない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

（1）全く運転しない

電源スイッチが切れていませんか

完全に入っていますか。
もう一度入れなおしてください。

リモコンコードの接続不良ではありませんか

リモコンコードのコネクタ部の接続を確認してください。
リモコンコードが断線していないか確認してください。

ショートサイクル停止中ではありませんか

3分間お待ちください。

運転／停止ボタンが「停止」になっていませんか

運転表示ランプ（赤）が消灯している時は、リモコンの運転スイッチを再び「入」にしてください。

停電していませんか

停電が復帰すると自動的に運転が開始されます。

庫内温度設定値が高くなっていませんか

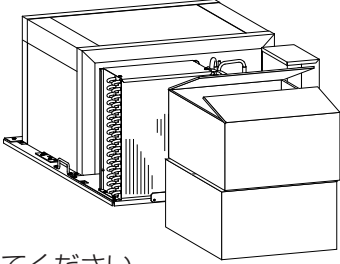
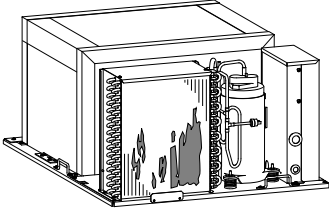
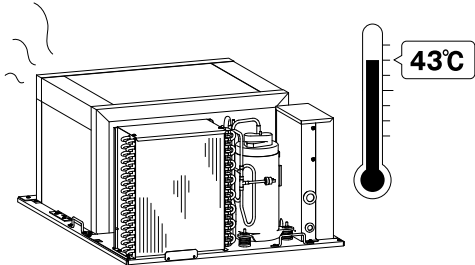
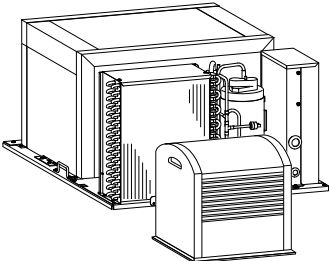
設定値を見直してください。

電圧が異常に低くありませんか

電源コードの延長接続やタコ足配線をしていませんか。

ヒューズが切れていませんか

ノーヒューズブレーカが作動していませんか。
作動している場合は、原因を取り除いて再度ブレーカを入れてください。

（2）温度表示部が E0 、 E1 、 E2 を表示したとき（UC No.と交互に点滅）

E0　冷却運転中のユニット異常（保護装置作動）

E1　霜取運転中のユニット異常（保護装置作動）

E2　電源が逆相

- サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。
  それでも原因が分からない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

風通しが悪い

凝縮器の吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。

処置

障害物を取除いてください。

凝縮器にゴミが付着している

処置

凝縮器を清掃してください。
9ページのお手入れをお読みください。

凝縮器の周囲温度が高い

凝縮器の風囲温度が43℃以上になっていませんか

処置

換気扇を設け35℃以下となるようにしてください。

発熱物が凝縮器の近くにある

処置

発熱物を取除いてください。

- **リセットの方法**
  原因を取除いてから運転を開始してください。リモコンの運転／停止ボタンをいったん停止にし、再び運転にするとリセットができます。

（3）温度表示部が H0 、 L0 、 H1 、 L1 、 H2 、 L2 を表示したとき

H0	サーミスタ<庫内温度>短絡	H1	サーミスタ<霜取終了温度>短絡	H2	サーミスタ<吐出温度※1>短絡
L0	サーミスタ<庫内温度>断線	L1	サーミスタ<霜取終了温度>断線	L2	サーミスタ<吐出温度※1>断線

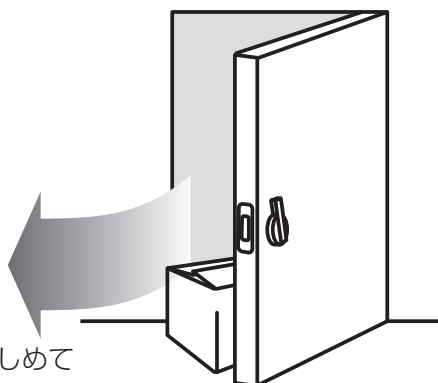
※1：冷凍用AFR形の場合は、凝縮温度

- **温度サーミスタの故障です**
  お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

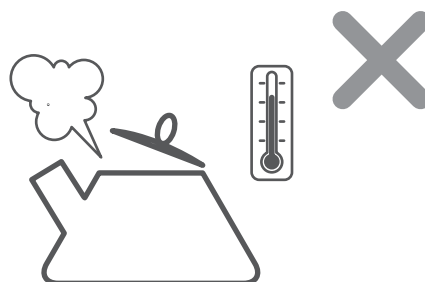
（4）よく冷えない、または温度表示部が高温警報を表示したとき

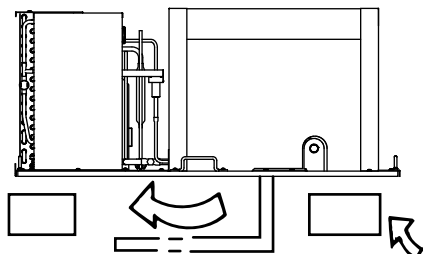
HH　50℃高温警報（庫内温度異常……UC No.交互に点滅）
HC　高温警報（庫内温度異常……UC No.交互に点滅）

扉が確実に閉っていない

異物などはさまっていませんか。

処置
扉をしっかりしめてください。

商品の温度が高すぎる

お湯、お茶などが高温状態で冷蔵庫内に入っていませんか。

処置
熱いものはさましてから入れてください。

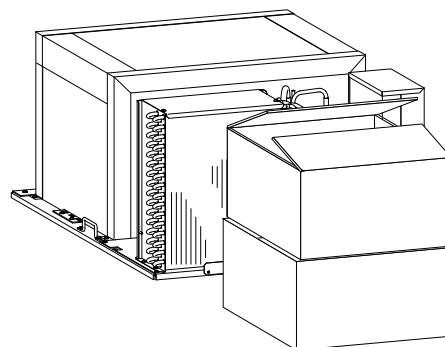
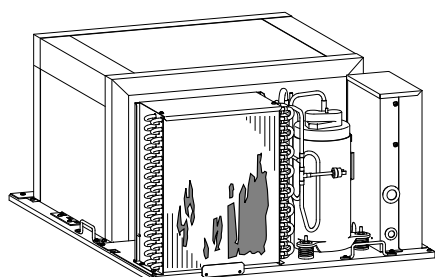
冷気の吸込口および吹出口を障害物でふさいでいる

処置
障害物を取除いてください。

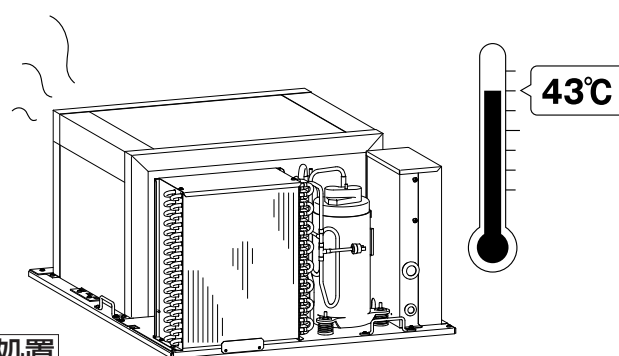
風通しが悪い

凝縮器の吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。

処置
障害物を取除いてください。

凝縮器にゴミが付着している

処置
凝縮器を清掃してください。
9ページのお手入れをお読みください。

凝縮器の周囲温度が高い

凝縮器の周囲温度が43℃以上になっていませんか。

処置
換気扇を設け35℃以下となるようにしてください。

● 該当しない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの三菱電機ビルテクノサービスへご連絡ください。

(5) 温度表示部の dF 表示について

霜取運転中および霜取運転終了後（冷却運転中）15分間は、 dF 表示となります。故障ではありませんので、30分程度お待ちください。庫内温度が表示されます。

〈7〉仕様

項目 ＼ 形名		AFH−P05A	AFH−P05RA	AFL−P05RA	AFL−RP08A	AFL−RP1A	AFL−RP1.6A	AFL−RP2A	AFR−RP1A	AFR−RP1.6A	AFR−RP2A	AFR−RP3A
性能	冷却能力（kW）	0.68/0.75		0.59/0.67	0.81/1.00	1.12/1.38	1.50/1.78	2.56/2.78	0.60/0.73	0.88/1.02	1.35/1.55	1.95/2.09
	凝縮器吸込空気温度32℃	庫内温度5℃		庫内温度 0 ℃					庫内温度−20℃			
電　　源		三相200 50/60Hz	単相100　50/60Hz		三相200　50/60Hz							
圧縮機称呼出力（W）		400			600	750	1100	1500	750	1100	1500	2200
風量 (m³/min)	凝縮器	7.5/8.9			10.5/11.0	14.5/16.5	15/17	23/24	13/15.5	18/20	22.5/24	23/24
	冷却器	5.5/6.5			5.5/6.5	9/10.5	10.5/12.5	20/23	10/11.5	12.5/14.5	19.5/21	18.5/21
外形寸法（mm） 高さ×幅×奥行		380×640×650			380×640 ×650	385×880 ×680	396×963 ×906	505×963 ×995	385×880 ×680	396×963 ×906	505×963 ×906	505×963 ×995
製品質量（kg）		34		35	35	40	49	74	41	51	72	80

〈8〉 保証とアフターサービス

（1）無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが無償にて支給するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります
ただし2項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

（2）保証できない範囲

（イ）下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

使　用　範　囲					
形　名	AFH－P05A	AFH－P05RA	AFL－P05RA	AFL－RP08A RP1A RP1.6A RP2A	AFR－RP1A RP1.6A RP2A RP3A
周囲温度 (凝縮器吸込空気温度)	+5～+43℃				−5～+43℃
庫内温度	+3～+20℃		−5～＋15℃		−25～−5℃
電源／電圧	三相200V 50/60Hz 運転中の電圧 180～220V 始動時の最低電圧 170V以上 相間電圧不平衡率 2%（4V）以内	単相100V 50/60Hz 運転中の電圧 90～110V 始動時の最低電圧 85V以上 相間電圧不平衡率 2%（2V）以内		三相200V 50/60Hz 運転中の電圧 180～220V 始動時の最低電圧 170V以上 相間電圧不平衡率 2%（4V）以内	

（ロ）機種選定に不具合がある場合
冷却負荷に対し明らかに過大または過小の能力を持つユニットを選定し、故障に至ったと当社が判断した場合

（ハ）当社の出荷品を改造した場合

（ニ）運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合
- 塩害
- 据付場所不備による事故
（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）

（ホ）天災、災害による事故

（ヘ）据付工事に不具合がある場合
- 据付工事中取扱不良のため損傷、破損した場合
- 当社関係者が工事上,使用上の問題を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 明らかにユニットが傾斜して取付けられた場合。

（ト）その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。
また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の２次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。
（代理店等と相談して損害保険に加入してください。）

（チ）この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。

万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス・当社営業所へご連絡ください。また、末永くご愛用頂くために、定期のお手入れ，点検等は販売店または三菱電機ビルテクノサービス（株）との保守契約をおすすめします。

- ご連絡の場合は、つぎの3点をハッキリお示しください。
  1. 形名（例:AFL－RP1A）
  2. 製造番号
  3. 故障内容（できるだけくわしく）

（1．2．は）定格名板に記載してあります。

警備システムの設置について

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。また高温警報の信号を出力する端子も設けていますので、温度管理が容易に対応できます。高級品の貯蔵、医薬品など厳重な温度管理を必要とする場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、警報装置の設置や設備上のご配慮（保護サーモ設置等）をお願いします。

■設備工事業者	■担当サービス会社

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　　月　　日 ～　　年　　月　　日

管理番号	

施設所有者			
施設名称		系統名	
施設所在地		電話	
運転管理責任者		電話	
点検事業者 会社名		責任者	
点検事業者 所在地		電話	

使用冷媒		初期充填量（kg）		点検周期	基準		実績（月）	

設備製造者				
設置年月日				
使用機器	型式		製品区分	
	製番		設置方式	現地施工
	用途		検知装置	

冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

〒640-8686　和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT04878X05